講義シラバス

科目名	就職講座Ⅲ	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	講義	総時間数	30	時間
学科	トータルビューティ科	コース				学年	2年生			
講師名	澤井 柁秀	講師 プロフィール	札幌の大学を卒業後、不動産会社に勤務。土地・家屋の売買、マンション・アパートの管理を行う。一般企業の営業を経て、美容校の職員となり就職のサポートを行って、現在に至る。							

【授業を通じての到達目標】

目標に向かって自ら考え行動することで就職内定に繋げることができる。
社会人の仕組みやマナーを理解し、職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力、対応力を身につける。

【学習内容】

目標設定を明確にして自ら考え、行動できる人材になるためのスキルやプレゼンテーション力、コミュニケーション力を身につける。
業界で活躍するために必要な社会人基礎力を身につけて実践できる人材を目指す。

【使用教科書・教材・参考図書】

筆記用具・メモ帳

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
① (9/18)	<p>【到達目標】 これまでの振り返りを行い、自分が成長したことを実感してもらう。 その上で、将来のビジョンを明確にし、即戦力となる人材を目指す 卒業後に向け、目標決め 【小テスト2点】ワーク</p>	⑨ (11/20)	<p>【到達目標】 お客様からのクレーム対応力をつける、謝罪のお手紙の書き方を学び理解する 【小テスト2点】文章作成提出</p>
② (9/25)	<p>【到達目標】 就職講座3(太田先生) 社会人のイメージを持ち、就職に向けた意識を持つようになる 【小テスト2点】就職ワークの提出</p>	⑩ (11/27)	<p>【到達目標】 イベント企画:美容のイベントを作成 企画の立案、内容、役割、実施を自らが考え、チームワーク力、主体性、責任感を持ち仕事に取り組む気持ちを持つことができる 【小テスト3点】企画内容の作成</p>
③ (10/2)	<p>【到達目標】 課題日</p>	⑪ (12/4)	<p>【到達目標】 マネー教育 ※業界 お金の大切さ・使用上の注意を改めて学び、考えながらお金を使用できるようになる 【小テスト3点】ワーク</p>
④ (10/9)	<p>【到達目標】 先輩・上司への手土産、会食での覚えておくべきこと 手土産ランキング・お酒の種類について 【小テスト2点】穴埋めシート提出</p>	⑫ (12/11)	<p>【到達目標】 【小テスト3点】ワーク</p>
⑤ (10/16)	<p>【到達目標】 クレーム対対応シミュレーション クレームに対する対応を身に着けられるようになる 【小テスト3点】振り返りワーク</p>	⑬ (12/18)	<p>【到達目標】 目標管理 これからの目標を決めたうえで、今後の生活を考えることで、目標を達成するための準備ができる 【小テスト3点】ワーク</p>
⑥ (10/23)	<p>【到達目標】 領収書・クレジットカードについて 仕組みについて学び、説明できるようになる 【小テスト3点】穴埋めシート</p>	⑭ (1/22)	<p>【到達目標】 2年間を振り返り、学校生活で身につけた力を卒業後、どのように生かすかイメージする 卒業の自分を明確にイメージする 【小テスト3点】ワークシート</p>
⑦ (10/30)	<p>【到達目標】 思いやりの心について理解し、行動できるようになる グループディスカッション、言葉の花束 【小テスト3点】言葉の花束を贈る</p>	⑮ (1/29)	<p>【定期試験】60 4Sで身につけた知識の確認。 社会人基礎力について理解しているか 卒業してから1年後の明確な目標についてプレゼン</p>
⑧ (11/6)	<p>【到達目標】 業界講話 【小テスト3点】振り返りシート</p>	<p>【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)</p>	
<p>【履修に当たっての心構え・留意点】</p>			
<p>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</p>			

講義シラバス

科目名	セルフプロデュース	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	演習	総時間数	30 時間
学科	トータルビューティ科	コース				学年	2年生		
講師名	本田 麻美 畑 育実	講師 プロフィール	本田:美容部員として約10年勤務。その後ヘアメイク事務所に5年所属。現在フリーランスでヘアメイクアップアーティストとして活動中。 畑:有限会社ダディックファッション代表。主にCM、タレントなどのスタイリスト&ヘアメイク&ファッションデザイナーとして活動し、美の総合プロデュースを行うイメージカウンセラーでもある。						

【授業を通じての到達目標】

企業の顔となるように自信を磨き自己ブランディングが出来るようになる
色彩、ファッションの基礎を学び自分の魅力について考え体現できるようになる

【学習内容】

【使用教科書・教材・参考図書】

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
	【到達目標】		【到達目標】
① (9/16)	自分に似合うヘアスタイルを知る。清潔に見えるヘアスタイルを学ぶ	⑨ (/)	ファッションチェックのポイントと美点凝視について学習する。ファッションチェック、美点凝視を通して、他者の良いところを見つけるプロとなる
② (9/30)	髪を清潔に保つ為に必要な事を学び、自分の髪質にどんなヘアケアが必要理解する。	⑩ (/)	トレンドの流れと世界5大コレクションについて、DVD視聴と解説、流行とは何か、世界の5大コレクションを学び、ファッション業界と社会がどのような関りを持っているのか理解できるようになる
③ (10/7)	頭皮ケア・年齢問わず好まれるメイク	⑪ (/)	ファッションコーディネートの方法と提案(骨格、視覚効果について) 体型の骨格の違いと、錯視効果を取り入れたコーディネート方法を学び、他者のその人らしさのあるコーディネート提案ができるようになる
④ (10/14)	頭皮ケア・年齢問わず好まれるメイク	⑫ (/)	TPO、トレンド感性、体型カバーのコーディネートテクニックを学ぶ。業界人として必要な基礎知識を学び、どのようなテクニック方法があるか、情報収集し、共有することができる
⑤ (10/21)	写真撮影の際に気を付けるメイクやヘアセットを学ぶ	⑬ (/)	条件別のファッションコーディネートをGPワークし、提案、発表。指定された条件に合うコーディネート方法を積極性、協調性、集中力をもって提案する
⑥ (10/28)	今までの学びを活かしセルフでヘアメイクをし、撮影する	⑭ (/)	ファッションコーディネートの着回し方法の基本(テスト別)を知り、幅広いニーズ提案できるようになる。指定されたアイテムを使用した着回しのGPワーク
⑦ (10/28)	吉野奈美佳さんによるセルフプロデュース講話	⑮ (/)	【定期試験】60
⑧ (/)	【到達目標】 オリエンテーション。ファッションとは。ファッション業界について。自分の考えるオシャレとは。業界人となるための意識を高め積極的に取り組むことができる		【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。
【履修に当たっての心構え・留意点】			

講義シラバス

科目名	トレンドコスメ&メイクアップテクニクⅡ	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	演習	総時間数	60	時間
学科	トータルビューティ科	コース				学年	2年生			
講師名	本田麻美/西村麻衣子	講師 プロフィール	<p>本田:美容部員として約10年勤務。その後ヘアメイク事務所に5年所属。現在フリーランスでヘアメイクアップアーティストとして活動中。</p> <p>西村:年間1000名以上が来店するマイスタイルサロンリユ어의共同経営者/パーソナルカラーや顔タイプ診断等の理論をもとに「似合う×なりたい」を叶えるメイクの提案を行う。イメージコンサルティングに関する企業研修講師の実績も多数。</p>							
【授業を通じての到達目標】										
メイクアップのトレンド・トレンドカラーを学び、トレンドを取り入れたモデルへのメイクアップが出来るようになる										
【学習内容】										
様々なコスメを使い、メイクの技術アップを目指す										
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】					
メイク道具一式・筆記用具・ノート										
日時	授業計画				日時	授業計画				
① (9/16)	【到達目標】トレンドカラーに合わせたメイクが出来るようになる				⑨ (11/18)	【到達目標】写真で見たメイクを忠実に再現できるようになる				
	今季トレンドのメイク&カラーを調べ相モデルで出来るようになる 小テスト2点					メイクの分析力と再現性を高めるものまねメイク① 小テスト3点				
② (9/30)	【到達目標】コスメの特性やメイクの仕方を理解しイメージ操作ができるようになる				⑩ (11/25)	【到達目標】写真で見たメイクを忠実に再現できるようになる				
	色・形・質感を操作して似合う・なりたいイメージに寄せるメイクを学ぶ 小テスト2点					メイクの分析力と再現性を高めるものまねメイク② 小テスト4点				
③ (10/7)	【到達目標】韓国メイクの特徴を学びそれが表現できるようになる				⑪ (12/2)	【到達目標】ファッションによって変わるメイクを理解し、表現できるようになる				
	韓国メイクの特徴とメイク手法を学ぶ 小テスト2点					相モデルのファッションに合わせたメイクを行う 小テスト3点				
④ (10/14)	【到達目標】各ブランドのイメージを表現出来るようになる				⑫ (12/9)	【到達目標】イベントに合わせたメイクが出来るようになる				
	各化粧品ブランドの広告メイクを調べ相モデルにできるようになる 小テスト2点					クリスマスを意識したデートメイクができるようになる 小テスト3点				
⑤ (10/21)	【到達目標】各ブランドのイメージを表現出来るようになる				⑬ (12/16)	【到達目標】苦手な部分を克服し定期テストにそなえる				
	各化粧品ブランドの広告メイクを調べ相モデルにできるようになる 小テスト2点					定期試験対策授業 小テスト3点				
⑥ (10/28)	【到達目標】イベントのメイクができるようになる				⑭ (1/20)	【到達目標】苦手な部分を克服し定期テストにそなえる				
	ハロウィンメイクができるようになる 小テスト3点					定期試験対策授業 小テスト4点				
⑦ (11/4)	【到達目標】商品の良さをチームでまとめプレゼンできるようになる				⑮ (1/27)	【定期試験】60				
	チーム対抗商品プレゼンテーション 効果的に商品をPRする 小テスト3点					テーマに沿ったメイクを時間内に仕上げる				
⑧ (11/11)	【到達目標】相モデルに合わせたトレンドメイクが出来るようになる				【成績評価の方法と基準】					
	トレンドカラーを使い相モデルに似合うメイクを行う 小テスト4点									
【履修に当たっての心構え・留意点】										
忘れ物は自己管理不十分とみなし、小テストよりマイナスにする。										

●小テスト40点/定期試験60点

●評価

A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点)

E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)

●評価方法

評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

講義シラバス

科目名	ネイルテクニックⅣ	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	実習	総時間数	60	時間
学科	トータルビューティ科	コース				学年	2年生			
講師名	山本麻美	講師 プロフィール	日本ネイリスト協会常任本部認定講師、ネイルサロンPRISM代表、福祉ネイリストサロンスタッフ技術指導(新人研修外部講師)、検定審査、スクール講師など長年にわたり携わる							
【授業を通じての到達目標】										
ジェルネイル・ネイルアートを学び、トレンドに敏感になり様々なデザインを作成できるようになる										
【学習内容】										
ジェルネイル・ネイルアートの技術習得とデザインの提案力を身につける										
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】					
ネイル教材一式、ノート、筆記用具、アート用品、雑誌など					自主練習、デザインの参考資料準備など					
日時	授業計画				日時	授業計画				
① (9/17・19)	【到達目標】 ジェルネイルアートで自分のネイルを綺麗に仕上げることが出来るようになる (2色グラデ、ワンカラー、マグネットを使ったアート)				⑨ (11/19・21)	【到達目標】 アート見本を活用してお客様にジェルネイルアートを綺麗に出来るようになる (相モデル練習)				
② (9/24・26)	【到達目標】 アニマル柄のアートが出来るようになる (アート説明、ミラー豹柄など、チップ5枚作成) 小テスト5点				⑩ (11/26・28)	【到達目標】 アート見本の色や組み合わせを変えてもお客様に綺麗に出来るようになる (相モデル練習)				
③ (10/1・3)	【到達目標】 暖色系のカラーを使用したデザインを考案し、チップの作成ができるようになる (アート説明、チーク、クレイジェルなど、チップ5枚作成) 小テスト5点				⑪ (12/3・5)	【到達目標】 ジェルを使った長さ出しが出来るようになる (長さ出しの説明、ハーフチップ、練習)				
④ (10/8・10)	【到達目標】 寒色系のカラーを使用したデザインを考案し、チップの作成ができるようになる (アート説明、アイシング、チップ5枚作成) 小テスト5点				⑫ (12/10・12)	【到達目標】 クリスマスに向けてのデザインを考案し、チップの作成ができるようになる (アート説明、エンボスリボンなど、チップ5枚作成) 小テスト5点				
⑤ (10/15・17)	【到達目標】 無彩色のイメージのデザインを考案し、チップの作成ができるようになる (アート説明、トルベイントなど、チップ5枚作成) 小テスト5点				⑬ (12/17・19)	【到達目標】 お客様に合うデザインを提案し、ジェルアートを綺麗に出来るようになる (相モデル練習)				
⑥ (10/22・22)	【到達目標】 ハロウィンに向けてデザインを考案し、チップの作成ができるようになる (アート説明、チップ5枚作成) 小テスト5点				⑭ (1/21・23)	【到達目標】 カラージュの作成をネイルデザインを考案しながら作ることが出来るようになる				
⑦ (10/29・31)	【到達目標】 アニメなどのキャラクターのイメージに合わせたデザインを考案し、チップの作成ができるようになる チップ5枚作成				⑮ (1/28・30)	【定期試験】60 カラージュを元にデザイン画を描き、チップ10枚1セットを作成する				
⑧ (11/5・7)	【到達目標】 サロンにあるようなアート見本の作成ができるようになる (手書きアートの実際に見せられるような見本作り) 小テスト5点				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					
【履修に当たっての心構え・留意点】										
忘れ物をしない 授業前までに道具の準備、テーブルセッティングを済ませておく										

講義シラバス

科目名	エステティックテクニックⅣ	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	トータルビューティ科	コース				学年	2年生		
講師名	山下 優	講師 プロフィール	エステライセンスコース卒業生、CIDESCO国際エスティシャン卒業後、市内ホテル専属エステサロンにて勤務。日本人～海外の方々へエステ・メイク・ネイルと幅広く担当。現在は有名芸能人や有名タレントも多く来店される体質・肌改善をメインとしたエステサロンにてマネージャーとして勤務。接客・施術・新人育成に携わっている。						

【授業を通じての到達目標】

フェイシャルの機器の効果・目的を理解し、機器を使用した施術とトリートメントテクニックが出来るようになる
お客様の肌状態を見て施術内容を考えられるようになる

【学習内容】

美容・健康に関する知識を幅広く身に付け、自らも美しくなる
エステティックを楽しみながら学び、人間力・即戦力・提案力・発言力のある美容業界人になる

【使用教科書・教材・参考図書】

教科書 (Ajesthe、AEA)、その他配布資料、クリアファイル
実技道具一式、筆記用具、メモ帳

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

授業内容の復習・まとめ
技術練習

日時	授業計画	日時	授業計画
	【到達目標】		【到達目標】
①	資料配布・確認 ベッド・ワゴンセッティング統一 ★小テスト 2点 (ベッド・ワゴンセッティング)	⑨	《電気機器の技術習得》 有効成分・効果・注意事項・禁忌事項を理解し、適切に使えるようになる。 コンサル/スチーマー+ディープクレンジング/低周波/マッサージ/仕上げ ★小テスト 3点
②	《スチーマー動作方法の習得》 効果・注意事項・禁忌事項を理解し、適切に使えるようになる。 コンサル/スチーマー+マッサージ/パック/仕上げ ★小テスト 3点 (フェイシャルマッサージ)	⑩	《電気機器の技術習得》 有効成分・効果・注意事項・禁忌事項を理解し、適切に使えるようになる。 コンサル/スチーマー+ディープクレンジング/高周波/マッサージ/仕上げ ★小テスト 3点
③	《ディープクレンジングの技術習得》 有効成分・効果・注意事項・禁忌事項を理解し、適切に使えるようになる。 コンサル/スチーマー+ブラシ洗顔/パック/仕上げ ★小テスト 3点	⑪	《オーダーメイドのフェイシャルエステ技術の考案・技術の提案》 コンサルテーションに基づき、お客様(モデル)のお悩みや要望に合わせたフェイシャルエステを考案・提供出来るようになる。 ★小テスト 3点
④	《ディープクレンジングの技術習得》 有効成分・効果・注意事項・禁忌事項を理解し、適切に使えるようになる。 コンサル/スチーマー+粒子なし/パック/仕上げ ★小テスト 3点	⑫	《オーダーメイドのフェイシャルエステ技術の考案・技術の提案》 コンサルテーションに基づき、お客様(モデル)のお悩みや要望に合わせたフェイシャルエステを考案・提供出来るようになる。 ★小テスト 3点
⑤	《ディープクレンジングの技術習得》 有効成分・効果・注意事項・禁忌事項を理解し、適切に使えるようになる。 コンサル/スチーマー+酵素クレンジング/パック/仕上げ ★小テスト 3点	⑬	《オーダーメイドのフェイシャルエステ技術の考案・技術の提案》 コンサルテーションに基づき、お客様(モデル)のお悩みや要望に合わせたフェイシャルエステを考案・提供出来るようになる。 ★小テスト 3点
⑥	《パック塗布の技術習得》 有効成分・効果・注意事項・禁忌事項を理解し、適切に使えるようになる。 コンサル/スチーマー+マッサージ/パック/仕上げ ★小テスト 3点	⑭	《定期試験対策授業》 ★小テスト 2点
⑦	《パック塗布の技術習得》 有効成分・効果・注意事項・禁忌事項を理解し、適切に使えるようになる。 コンサル/スチーマー+マッサージ/パック/仕上げ ★小テスト 3点	⑮	【定期試験】60 ★実技試験
⑧	【到達目標】 《電気機器の技術習得》 有効成分・効果・注意事項・禁忌事項を理解し、適切に使えるようになる。 コンサル/スチーマー+ディープクレンジング/イオン導入/マッサージ/仕上げ ★小テスト 3点	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

【履修に当たっての心構え・留意点】

身だしなみ、忘れ物は毎回チェックを行う。
不足があった場合は、小テストからの減点または授業を見学とする。

講義シラバス

科目名	インバウンド&外国語	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	トータルビューティ科	コース				学年	2年生		
講師名	高木 佳子	講師 プロフィール	大手化粧品メーカーにて美容マネージャーなどを歴任。接客・社員教育などで寄与。その後北海道の化粧品メーカー役員として、商品企画制度や社員育成研修制度などを確立し、アメリカにてエアブラシメイクの資格を取得。マナーOJTインストラクターや化粧品検定コスメコンシェルジュインストラクターを取得後、現在は心とお肌の健康をテーマにサロンを自営すると共に、官庁、企業研修や高校でのソーシャルマナー、就職講座、模擬面接、接客力向上ステップ、指導力研修などを担当。札幌ベルエポックでは、接客マナー、化粧品検定、インバウンド等の授業を担当。						

【授業を通じての到達目標】
 世界各国の国民性や習慣を学び、外国人のお客様に接客できる接客マナーや基本接客外国語を習得する。

【学習内容】
 インバウンドの概要・異文化の理解し、訪日外国人の対応力を身につけ、接客力を高め即戦力になる。

【使用教科書・教材・参考図書】 筆記用具・ノート	【授業時間外における学習・宿題・課題など】 外国人旅行者のニーズ。現状の情報収集、観察からインバウンドへの対応を考える
------------------------------------	---

日時	授業計画	日時	授業計画
① (9/17 ・9/19)	【到達目標】2 ～オリエンテーション～この授業の目的と到達目標の確認 シラバスの内容を理解する。次回からの授業の心構え・準備を整える インバウンドとは何か、インバウンドの状況を理解できるようになる	⑨ (11/9)	【到達目標】3 サービス検定日 検定前最終フォロー
② (9/24 ・9/26)	【到達目標】2 インバウンドの旅行動向・期待と活動／外国人から見た日本を知る 訪日外国人の求めていることを理解し、対応につなげる インバウンドの過去の状況からみた現状と動向を理解できるようになる	⑩ (11/19 11/21)	【到達目標】 <外国語> 訪日外国人へ「おもてなし」を伝えることができるようになる
③ (10/1 ・10/3)	【到達目標】3 国籍・地域別の訪日外国人、インバウンドの消費者動向 インバウンドと決済・免税制度を知る訪日外国人旅行者への対応姿勢／対応の基本とポイント 訪日外国人の満足度と不満を理解できるようになる	⑪ (11/26 11/28)	【到達目標】 <外国語> 訪日外国人へ「おもてなし」を伝えることができるようになる
④ (10/8 ・ 10/10)	【到達目標】3 国の違いを受け止め、お客様に快適に過ごしてもらう創意工夫を考える 異文化を理解する。世界を知り、日本を知ってもらう 各国旅行者に対する理解できるようになる 中国(好み・ニーズを知る)	⑫ (12/3 12/5)	【到達目標】 <外国語> 訪日外国人へ「おもてなし」を伝えることができるようになる
⑤ (10/15 ・ 10/17)	【到達目標】3 国の違いを受け止め、お客様に快適に過ごしてもらう創意工夫を考える 異文化を理解する。世界を知り、日本を知ってもらう 各国旅行者に対する理解できるようになる 韓国・アメリカ(好み・ニーズを知る)	⑬ (12/10 12/12)	【到達目標】 <外国語> 訪日外国人へ「おもてなし」を伝えることができるようになる
⑥ (10/22 ・ 10/24)	【到達目標】3 異文化コミュニケーションを理解する お客様に快適に過ごしてもらう創意工夫 各自、行きたい国・興味のある国について理解を深める	⑭ (12/17 12/19)	【到達目標】 <外国語> 訪日外国人へ「おもてなし」を伝えることができるようになる
⑦ (10/29 ・ 10/31)	【到達目標】3 異文化コミュニケーションを理解する お客様に快適に過ごしてもらう創意工夫 各自、行きたい国・興味のある国について理解を深める	⑮ (1/28 1/30)	【定期試験】 各国の旅行者への理解と「おもてなし」を伝える対応を身につける 各国のインバウンド(外国旅客)の特徴と、
⑧ (11/5 ・ 11/7)	【到達目標】3 サービス接客検定 検定前フォロー 模擬試験	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

【履修に当たっての心構え・留意点】
 忘れ物・授業受講姿勢についての指導、必要項目のメモを取る
 授業出席・遅刻の厳重管理と指導

講義シラバス

科目名	サロンワークⅡ	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	トータルビューティ科	コース				学年	2年生		
講師名	棚村弘恵	講師 プロフィール	講師歴は20年現在サロンではフェイシャル・ボディトリートメントを含めアロマセラピー、脱毛を行っております。その他バリニーズマッサージ、タラソセラピーなどニーズにお応えしたトリートメントを行なってまいりました。皆さんにわかりやすく今まで以上に美容を好きになり素敵になってもらえるよう努めていきたいと思っております。						

【授業を通じての到達目標】

接客理論を学び、クレーム対応・おもてなしについて理解し実践できるようになる
現場実習を通し、お客様への対応力を身につける

【学習内容】

サロン運営の基本を学ぶ。接客・おもてなし・クレーム対応について理解を深め、対価に見合う対応の重要性を理解する

【使用教科書・教材・参考図書】

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

筆記用具・指定教科書・シラバス・配布資料・各自使用道具

日時	授業計画	日時	授業計画
① (9/18)	【到達目標】 (オリエンテーション)今後の予定確認/シラバス確認をして目標到達を確認する サロンワークの流れを把握する メニュー考案 クレームについて(小テスト8点)	⑨ (11/20)	【到達目標】 現場実習対応
② (9/25)	【到達目標】 クレーム対応の基本と発生原因について内容を習得する(小テスト8点)	⑩ (11/27)	【到達目標】 現場実習対応
③ (10/2)	【到達目標】 クレームを増やさない対応について内容を確認して習得する(小テスト8点)	⑪ (12/4)	【到達目標】 現場実習対応
④ (10/9)	【到達目標】 クレーム対応4つの基本 良い例 悪い例(小テスト8点)	⑫ (12/11)	【到達目標】 現場実習対応
⑤ (10/16)	【到達目標】 クレーム対応の迅速な対応心情心理について理解し習得する(小テスト8点)	⑬ (12/18)	【到達目標】 現場実習対応
⑥ (10/23)	【定期試験】 クレーム対応策レポート作成(小テスト8点)	⑭ (1/22)	【到達目標】 現場実習対応
⑦ (10/30)	【到達目標】 現場実習対応	⑮ (1/29)	【定期試験】 現場実習対応
⑧ (11/6)	【到達目標】 現場実習対応	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

【履修に当たっての心構え・留意点】

忘れ物・授業受講姿勢についての指導、必要項目のメモを取る口
授業出席・遅刻の厳重管理と指導

講義シラバス

科目名	パーソナルカラー	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	演習	総時間数	30 時間
学科	トータルビューティ科	コース				学年	2年生		
講師名	新井 梨沙 大谷 奈津美	講師 プロフィール							

【授業を通じての到達目標】

ブランドコンセプトを学び、ブランドに合ったメイクテクニックを学び表現できるようになる
色の持つ特性を理解し、様々な場面で取り入れられるようになる

【学習内容】

ブランド概要を学び、様々な化粧品企業のコスメに触れ様々なメイクパターンを知ることで技術・知識・センスを向上させる
社会人としてふさわしいメイクアップ理論と技術を習得する

【使用教科書・教材・参考図書】

メイク道具一式、

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
① (9/16)	<p>【到達目標】</p> <p>オリエンテーション:美容業界人・社会人としてのメイクアップ方法を身につける大切さを学ぶ</p> <p>社会人としてメイクアップが相手に与える印象について学ぶ</p>	⑨ (11/18)	<p>【到達目標】</p> <p>中間チェック:これまで学んだブランドから1社選び、ふさわしいメイク・身だしなみに仕上げる</p>
② (9/30)	<p>【到達目標】</p> <p>資生堂化粧品の知識を深め、商品について・清潔感を与えるメイクアップ技術を学び自分の顔で表現できるようになる (アウトオブブランド:NARS, IPSA, cledepeau等)</p>	⑩ (11/25)	<p>【到達目標】</p> <p>ロレアル化粧品の知識を深め、商品について・モダンな印象を与えるメイクアップ技術を学び自分の顔で表現できるようになる (陰影を意識したメイクアップ)※シャープ</p>
③ (10/7)	<p>【到達目標】</p> <p>コーセー化粧品の知識を深め、商品について・上品さを与えるメイクアップ技術を学び自分の顔で表現できるようになる (アウトオブブランド:JILLSTUART, ADDICTION)</p>	⑪ (12/2)	<p>【到達目標】</p> <p>LWB様</p>
④ (10/14)	<p>【到達目標】</p> <p>カネボウ化粧品の知識を深め、商品について・カジュアルさを与えるメイクアップ技術を学び自分の顔で表現できるようになる (アウトオブブランド:LUNASOL, SUQUU, RMK)</p>	⑫ (12/9)	<p>【到達目標】</p> <p>LWB様</p>
⑤ (10/21)	<p>【到達目標】</p> <p>CHANEL化粧品の知識を深め、商品について・モード感を与えるメイクアップ技術を学び自分の顔で表現できるようになる (スモーキーメイク)</p>	⑬ (12/16)	<p>【到達目標】</p> <p>LWB様</p>
⑥ (10/28)	<p>【到達目標】</p> <p>DIOR化粧品の知識を深め、商品について・エレガントさを与えるメイクアップ技術を学び自分の顔で表現できるようになる</p>	⑭ (1/20)	<p>【到達目標】</p> <p>LWB様</p>
⑦ (11/4)	<p>【到達目標】</p> <p>韓国化粧品の知識を深め、商品について・韓国トレンドのメイクアップ技術を学び自分の顔で表現できるようになる</p>	⑮ (1/27)	<p>【定期試験】60点</p> <p>学んだ知識と技術を披露 自分の個性を最大限発揮したセルフメイクアップ</p>
⑧ (11/11)	<p>【到達目標】</p> <p>ロレアル化粧品の知識を深め、商品について・クールな印象を与えるメイクアップ技術を学び自分の顔で表現できるようになる (陰影を意識したメイクアップ)※YSL</p>	<p>【成績評価の方法と基準】</p> <p>●小テスト40点/定期試験60点</p> <p>●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)</p> <p>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</p>	
<p>【履修に当たっての心構え・留意点】</p> <p>忘れ物・授業受講姿勢についての指導、必要項目のメモを取る 授業出席・遅刻の厳重管理と指導</p>			

講義シラバス

科目名	インナービューティ	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	演習	総時間数	30	時間
学科	トータルビューティ科	コース				学年	2年生			
講師名	佐藤 仁美	講師 プロフィール	柔道整復師、加圧スペシャルインストラクターとして骨格からからだを整え、調理師として身体の中から整えるメニューのカフェ・料理講師として活動しています。現在は心理学を学び、メンタル面からの健康美実践もご提案しています。心と身体は食事・運動・睡眠と密接な関係があり、健康で美しくあるためのトータルビューティをご提案しています。							

【授業を通じての到達目標】

栄養・食について学び、カラダの中から美しくなることを目指す
日々実践し、自身の健康と美を食事で支えられられるようになる

【学習内容】

カラダの働き(消化・吸収・代謝など)を解剖学と生理学の分野からより深く学び、インナービューティに直結する食事について、さまざまなジャンルから座学と実習を通じて知識と技術を習得し、実践できるようになる。

【使用教科書・教材・参考図書】

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

授業で得た知識を自宅で実践し、写真やレポートにて提出する。

日時	授業計画	日時	授業計画
① (9/18)	【到達目標】 シラバスについて理解する。 インナービューティとは何か、これから必要なことについて学び理解する。	⑨ (11/20)	【到達目標】 「実践インナービューティメニュー」について、自分の考えをまとめ他者に提案することができるようになる。
② (9/25)	【到達目標】 インナービューティに不可欠な栄養・消化・吸収・代謝についてより深く理解する	⑩ (11/27)	【到達目標】 「実践インナービューティメニュー」について自分以外の考え方について理解し、プレゼンの準備を進める。
③ (10/2) 課題	【到達目標】 インナービューティに不可欠な栄養・消化・吸収・代謝についての理解度を把握し、これから学ぶ食事についての予習をする	⑪ カフェ (12/4)	【到達目標】 「実践インナービューティメニュー」のプレゼン、オーディションを通じてより実践的メニューの考察ができるようになる。
④ (10/9)	【到達目標】 インナービューティの鍵となる抗酸化と抗糖化について理解し、実践できるようになる。	⑫ (12/11)	【到達目標】 「実践インナービューティメニュー」について理解し、実習を円滑に進める準備ができるようになる
⑤ (10/16)	【到達目標】 インナービューティの近道 「まごわやさしい」について理解し、実践できるようになる。	⑬ (12/18) 3階実習室!	【到達目標】 「実践インナービューティメニュー」を実践し、体感する。
⑥ (10/23)	【到達目標】 マクロビオティックについて学び、理解する。また、自ら取り入れ実践できるようになる。	⑭ (1/22)	【到達目標】 職業人として、他者へより具体的なインナービューティ実践のアドバイスができるようになる。
⑦ (10/30)	【到達目標】 薬膳について学び、理解する。また、自ら取り入れ実践できるようになる。	⑮ (1/29)	【定期試験】60 定期テスト(筆記試験)
⑧ (11/6)	【到達目標】 カラダに入れるものは自ら選ぶ必要があること、インナービューティに直結する食事の実践方法について理解する。	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

【履修に当たっての心構え・留意点】

インナービューティは日々の積み重ねです。学んだことを日常に取り入れてください。毎回調べもの学習がありますので端末の充電や筆記用具持参は必須です。

講義シラバス

科目名	フィットネス	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	トータルビューティ科	コース				学年	2年生		
講師名	當瀬あさ子	講師 プロフィール	全国330店舗展開 株式会社GENKIDO 自費統括マネージャー／FC店舗SV 美容と健康のトータルビューティーサロンFagun Raxia relaxの運営管理 アロマエステ、フェイシャル、ボディメイク、リラクゼーションの教育及び運営マネジメント。 整骨院のFC店舗SV担当						

【授業を通じての到達目標】

身体の基本構造を理解し、自身の姿勢、身体の正しい使い方を身につける

【学習内容】

身体の基本解剖、呼吸と正しい身体の使い方、ストレッチポールを使ったエクササイズ、セルフエクササイズ、食事管理、心の持ち方と自分の置かれる環境について。

【使用教科書・教材・参考図書】

ストレッチポール、エクササイズ用マット

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

定期的な課題・予習・復習

日時	授業計画	日時	授業計画
① (/)	【到達目標】 授業の到達目標について 身体の基本姿勢チェック	⑨ (/)	【到達目標】 正しい身体の使い方について 上肢の整体ができるようになる 【身体の使い方について小テスト:8点】
② (/)	【到達目標】 正しい姿勢検査:下肢の姿勢チェックができるようになる	⑩ (/)	【到達目標】 心の持ち方 ホスピタリティを理解する 【心の持ち方について小テスト:8点】
③ (/)	【到達目標】 正しい姿勢検査:上肢の姿勢チェックができるようになる	⑪ (/)	【到達目標】 環境とは何かを理解する 【環境について小テスト:8点】
④ (/)	【到達目標】 呼吸について/ストレッチポールエクササイズ 腹式呼吸エクササイズができるようになる	⑫ (/)	【到達目標】 ストレッチ(下肢)・エクササイズで下肢のバランスが取れる
⑤ (/)	【到達目標】 呼吸について/ストレッチポールエクササイズ 腹式呼吸エクササイズができるようになる 【呼吸について小テスト:8点】	⑬ (/)	【到達目標】 ストレッチ(上肢)・エクササイズで上肢のバランスが取れる
⑥ (/)	【到達目標】 食生活について カロリー計算ができるようになる	⑭ (/)	【到達目標】 ストレッチ(体幹)・エクササイズ 体幹の正しい使い方ができる
⑦ (/)	【到達目標】 食生活について 自身の食生活を組み立てることができるようになる 【食について小テスト:8点】	⑮ (/)	【定期試験】60 呼吸・食生活・正しい身体の使い方・心の持ち方・環境についての筆記試験
⑧ (/)	【到達目標】 正しい身体の使い方ができるために、下肢の整体ができるようになる	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

【履修に当たっての心構え・留意点】

授業出席態度、遅刻の厳重管理と指導、忘れ物、授業態度の指導。動ける服装、シューズで授業出席してください